



小池絵未の国際機関探訪

こんにちは！小池絵未です。
今回は、国連事務局・紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表事務所の太曲由起子さん（おおまがり・ゆきこ）さんを訪ねました。

◆今回訪問した国際機関

国連事務局

紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表事務所

- 武力紛争下で起きる性的暴力の不処罰を根絶し、予防するという目標を達成するために国連全体を主導しているのが「紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表」です。
- 紛争下の性的暴力は安全保障の問題であり、社会を破壊し得るということを認識する安全保障理事会の決議で創設されました（2009年）。当時日本も非常任理事国として創設を後押ししました。
- 現在19カ国の国・地域に注目して活動しています。国や軍のトップなどに問題への取り組みを働きかけています。

◆お話を聞いた方

おおまがり ゆきこ

太曲 由起子さん

国連事務局

紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表事務所

アソシエイト・プログラム・オフィサー



①いつ頃、国際機関で働こうと思いましたか？

高校生の時に国際関係の本を読んでいて、国際関係を勉強したいと思いました。

高校3年生になり、アメリカに留学をしたのですが、留学した高校は、移民や難民の子どもたちが多く通っている高校でした。

すごく親しくなった友達が、イラク北部から来たクルド人で、当時米国に家族で亡命して来たばかりの子でした。その時に、世界の窮状を身近に感じました。

実際に国際機関で働こうと思ったのは、大学時代に国連でインターンシップを2回した時です。国連南アフリカ事務所でインターンをした時の上司が、とてもパワフルなエチオピア人で、私に色々なことを教えてくれ、とても良い刺激を受けました。

彼女が「国連ほど、人類の理想の現実化を公に堂々と掲げ、且つ世界中からあまねく信頼を受けてそれをやり遂げようとしている組織はない」と言ったのをよく覚えています。

彼女は国連にすごく誇りを持っていたので、その時から国連で働くことに関心をもつようになりました。

②どのような学歴をお持ちですか？

米国には国際関係が強い大学が沢山あり、米国の大学に行くことにしましたが、その選択に自身で納得したいこともあり、高校3年生の時にミシガン州の高校に1年間留学しました。

その後、メリーランド州にあるワシントン大学に入学し、国際関係を勉強しました。この大学は留学制度が大変整っており、南アフリカとトルコ、英国でそれぞれ交換留学をさせてもらいました。

留学制度だけでなく、学部生に研究活動費を与える制度が充実していました。そのプログラムを使って、レバノンのベイルートで移民や難民の子どもたちの学校を運営するNGOでインターンシップをしました。

大学を卒業した後、アラビア語に大変興味を持っていたので、クウェート政府の奨学金制度を使って1年間クウェートに語学留学をしました。

その後は、NGOや国際機関での就職を意識して、公共政策の修士号(専門職学位)を取得しようと、東京大学の公共政策大学院で2年間勉強しました。

大学院に入学する前に、アルバイトを掛け持ちしてお金を貯めたり、地元のNGOでボランティアをしたりしました。

③国際機関に入る前はどのようなお仕事をしてきたのですか？

大学院に入学する前に、地元の福岡で女性に対する暴力の根絶に取り組んでいるNGO(アジア女性センター)でボランティアをしました。

家庭内暴力などを受けた女性とその子ども達のためのシェルターなどを運営しているNGOでした。

国際関係を語る前に、まず自分が生まれ育った街で暴力などに苦しんでいる人が目の前にいる事実に向き合い、自分がそれに繋がらないといけないと思っていました。

その後、大学院を卒業し、日本にいる移住者と難民の権利保護と促進に取り組むNGOで6年間勤務しました。その間JPO試験を受けました。

④どのような方法で国際機関に入りましたか？

日本のNGOに勤務している時に初めてJPO試験を受け、合格しました。

その後、地元に戻り、出産を経てニューヨークに赴任しました。ニューヨークに来てから、1年6ヶ月になります。



⑤今の仕事について詳しく教えてください！

この事務所は、事務総長の特別代表を支える約20人の小規模な事務所で、紛争下の性的暴力をなくすという国連全体の目的を達成するための政治的アドボカシーを主導しています。

国々のトップ、軍の関係者、武装勢力などに対して性的暴力を無くすよう働きかけます。

注目しているのは19か国で、例えば、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国、マリ、ソマリア、スーダン、南スーダン、ナイジェリア、イラク、シリア、リビア、イエメン、ミャンマー、スリランカ、アフガニスタンなどです。テロリストの他、国の軍隊が性的暴力を犯している場合もあります。

具体的な仕事の内容は、政府としてこのようなことをやります、という約束の文書や行動計画と一緒に作ったり、専門家チームが司法、法律整備、被害者保護といった面で国をサポートしたりすることです。

このような長いプロセスの中で、徐々に制度が整っていき、紛争下の性的暴力に対する不処罰がなくなり、防止されることを目指します。

私はそうした国とのやりとりをサポートしたり、状況のモニタリングや分析をしたりしています。



⑥今後のキャリアについてどのようにお考えですか？

紛争問題や人権問題に関わっていきたいです。

日本のNGOでの経験はもちろん、大学時代にフィールド調査をやったり、レバノンで移民や難民問題に関わるインターンシップをしたりした経験を通して、社会の最も「底辺」にいて、忘れ去られがちな人たちの人権が守られる社会が一番良い社会だと確信しました。

特に紛争下ですとそういう人たちの人権が一番忘れ去られがちです。

⑦国際機関を目指している方にメッセージをお願いします！

1つ目は、自分の目の前にある不正義に対して、何かアクションができるような人になることが大切ということです。

まずは認知するだけでもよいと思います。それが無いのに、国際関係を語るのは空虚な気がします。

私は福岡県にある柳川市という小さい街で育ち、国際関係と一見縁がないところにいたのですが、だからと言って目の前に問題がなかったわけではありません。

私自身(今より)若いときはそれに気づいていませんでした。世界の問題を解決する「ため」に、まずは、目の前の問題に気づき、できれば解決に貢献してほしいです。

2つ目は、多様性の中で活動することです。国籍や人種だけではなく、お金を持っている人、持っていない人、自分とは違う考えを持っている人、異なる学歴の人、年下の人、年上の人、そういった目の前にある多様性に気づいて触れておくことが大事だと思います。

自分と違った境遇の人たちの中に入って、お互いを理解して、一緒に何かをして問題を解決するという経験が大切なのではないのでしょうか。国連で働くということもそういうことだと感じています。

国連で働いていて楽しいところは、日々がチャレンジだということです。自分の能力の限界を超えるような仕事を任される時もあります。様々な加盟国とやりとりするというのも、難しい面もありますが、とても楽しいですよ。

③ 今回の取材を振り返って。感じたこと。

大曲さんの経験や考えを聞けて、とても勉強になりました。紛争下で起こっている暴力などをどうやって解決できるのかという話は、普通は聞けないとても貴重なものでした。そんな話を聞いていて、ふと、高校時代にアメリカ留学したことを思い出しました。初めてお友達になった子がイラク人で、その子のお兄さんが国連職員だったそうです。

やはり、若い時に留学して世界をみると色々なことに実際に触れ、感じることができるし、将来やりたい仕事の幅が広がると思います。

大曲さんのように、アクティブに色々な国に行って、経験することは素晴らしいことだと思います。

そして、大曲さんのように、自分の目の前にある問題に何かアクションを起こすということが大切だと思います。私も、ボランティアなど自分ができることが目の前にあれば、積極的に取り組んでみたいという気持ちになりました。



小池絵未 (Emi Koike)

1983年11月7日生まれ。東京都渋谷区出身。

高校から競技チアを開始し、3年連続で日本選手権大会第3位。米国ウェスタン・ケンタッキー大学に進学。大学のチアダンスチームに所属し、2005年全米大学チア・アンド・ダンス選手権で優勝。

その後、NHLナッシュビル・プレデターズ、アトランタ・ホークス、NHLアトランタ・スラッシャーズのダンスチームのメンバーとして活躍。2011年からはNFLのチアリーダーとしてニューヨーク・ジェッツで活躍。

NFL、NBA、NHLの米国3大スポーツリーグでチアリーダーに選出されるのは、日本人としては史上初。2013年チアリーダーを引退し、日本テレビ NFL 倶楽部の現地リポーターとして活動中。ニューヨーク在住現地スポーツリポーターとして、NFLだけでなく、NBA、MLBの取材にも携わっている。

外務省 国際機関人事センターNewsletter

「小池絵未のNY発国際機関探訪」VOL.9

出演：大曲由起子 国連事務局 紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表事務所 アソシエイト・プログラム・オフィサー

取材地：NY

2018年2月10日発行



外務省 国際機関人事センター

jinji-center@mofa.go.jp / 03-5501-8238

<http://www.mofa-irc.go.jp>



<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>